

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	24	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	労働者派遣(23-横-039)	
契約締結日	平成24年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	WDB株式会社	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年1月31日 入札締切日 平成24年2月14日 開札日 平成24年2月27日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。 さらに、件名を具体的な業務内容が分かるように記載するとともに、ID及びパスワードの入力をしなくても閲覧できる入札公告上に、入札仕様書に記載の「派遣労働者が従事する業務の内容」と「派遣労働者の要件」の情報を掲載している。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	より多くの派遣会社の競争参加を目的として、平成22年度、派遣会社に応札しなかった理由をアンケート調査を実施し、件名を具体的な業務内容が分かるように記載するとともに、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスの開始、入札公告への派遣労働者の業務内容及び要件の記載、辞退書の提出時期について入札書類提出後であることの明記などの取組を実施している。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
ヒトゲノム多型解析・遺伝子改変動物を用いた実験業務においては、平成24年4月1日より就業開始で、業務遂行の必要上、ヒトゲノム多型解析や疾患関連遺伝子の機能解析、遺伝子改変動物を用いた実験の経験が要件とされているところ、それを満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。現在可能な範囲で業者にこまめに声掛けすることを実践しており、徐々に成果が見られている。		
契約監視委員会のコメント		
生物系・バイオ関連などの人材派遣分野では、勤務地という条件もあり、仕様を満たす人材が一人しかいなければ、往々にして一者応札になることから、連続しての一者応札となるのもやむを得ない事情がある。 しかしながら、複数者による応札も行われている現状も踏まえ、これまで採られてきた一者応札改善に向けての措置を今後とも継続されるよう望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善に向けて、現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	252	
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	
契約の件名及び数量	疾患関連遺伝子探索のためのゲノム全域および特定領域の遺伝子型判定業務	
契約締結日	平成24年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社理研ジェネシス	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年2月24日 参加意思表示締切日 平成24年3月19日 開札日 平成24年3月29日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成24年度より随意契約事前確認公募を行った。
③公告期間の見直し	○	参加意思表示書の締切まで16日間の公告を行った。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、公募不参加であった業者(1社)に聴き取り調査を行ったところ、仕様を満たす業務内容ができないとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
疾患関連遺伝子探索のためのゲノム全域および特定領域の遺伝子型判定業務業務においては、理研と凸版印刷株式会社が共同で開発した技術を用いて行われており、解析量、解析精度を満たす業者がなかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
随意契約から公募に移行し、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
疾患関連遺伝子に関するデータ解析業務が、理研ジェネシスにしかできないものであるなら、競争性のない随意契約でもいいのではないかと。複数者応札・応募に向けては、英語での公募も行うとか、応募可能性のある会社に、直接、連絡を取る等しないと、難しいのではないかと。 なお、価格構成情報とか、会社情報などから、適正な取引価格となるように価格面にも引き続き配慮ありたい。 (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
本日頂いた意見を基に、必要に応じて、次回契約の見直しを検討したい。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

**一者応札・応募等事案フォローアップ票**

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	255	
入札及び契約方式	不落随意契約	
契約の件名及び数量	播磨研究所警備業務	
契約締結日	平成24年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士ガード(株)	
入札経緯及び結果	公告日 平成23年12月9日 入札締切日 平成24年1月23日 開札日 平成24年2月17日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が引継ぎ等準備期間を確保でき、履行可能なように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聴き取り調査を行ったところ、業務体制を維持するための活動拠点が無いとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	以前、本件類似の契約を行った(本件類似案件の入札に参加した)業者に公告内容を知らせた。
一者応札・応募等となった要因		
播磨研究所という地理的条件(遠隔地での業務であるという地理的な要因)のため営業拠点の有無など仕様を満たすための業務体制条件が整わなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、引き続き改善に向けての努力を望む。 なお、適正な取引価格となるように、一層の配慮を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者入札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	256	
入札及び契約方式	不落随意契約	
契約の件名及び数量	X線自由電子レーザー装置等の保守・整備・調整業務	
契約締結日	平成24年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	スプリングエイトサービス(株)	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年1月10日 入札締切日 平成24年2月13日 開札日 平成24年2月27日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が引継ぎ等準備期間を確保でき、履行可能なように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聴き取り調査を行ったところ、仕様を満たすような人材がいけないとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
①必要とされる技術要件の高さ、②人的資源の確保、③地理的な問題が要因として考えられ、そのため仕様を満たすための業務体制条件が整わなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、引き続き改善に向けての努力を望む。 なお、適正な取引価格となるように、一層の配慮を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者入札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	257	
入札及び契約方式	不落随意契約	
契約の件名及び数量	X線自由電子レーザー装置等の運転監視業務	
契約締結日	平成24年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	スプリングエイトサービス(株)	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年1月10日 入札締切日 平成24年2月13日 開札日 平成24年2月27日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	4月1日の業務開始日からみて、契約相手先が引継ぎ等準備期間を確保でき、履行可能なように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聴き取り調査を行ったところ、仕様を満たすような人材がいけないとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者は他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
①必要とされる技術要件の高さ、②人的資源の確保、③地理的な問題が要因として考えられ、そのため仕様を満たすための業務体制条件が整わなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、引き続き改善に向けての努力を望む。 なお、適正な取引価格となるように、一層の配慮を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者入札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	273	
入札及び契約方式	公募	
契約の件名及び数量	蛋白質構造解析用超高輝度高速X線回折およびクライオ装置 予防保全一式	
契約締結日	平成24年8月15日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社リガク	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年7月23日 応募締切日 平成24年8月6日 通知日 平成24年8月6日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	8月15日の業務開始日からみて、仮に随意契約予定外の業者からの申請があっても十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては応募期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	随意契約の予定先以外には、想定する業者はなく、当該業者からの聴き取りは十分行っている。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	想定出来る競争参加者はメーカーである(株)リガクのみだったため、④公告周知方法を改善することにより、他の業者への周知を強化した。
一者応札・応募等となった要因		
当該装置のメーカーである(株)リガクによる保全業務の公募であり、実施出来る業者が他に不在だったためと思慮。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
<p>本業務は、株式会社リガクが製造した蛋白質構造解析用超高輝度高速X線回折装置とこれに附属するクライオ装置の保守である。当該蛋白質構造解析用超高輝度高速X線回折装置は高度に精密な機器であり、かつ、強い放射線を発生するため、その保守においてはその構造を熟知している必要があること、対応への即応性などの観点から、同社にしかできないものであるなら、競争性のない随意契約でもいいのではないか。なお、「予防保全」が「保守」を意味するのであれば、契約件名の表記の統一についても一考ありたい。</p> <p>複数者応札・応募に向けては、応募可能性のある会社を特定し、直接、連絡を取る等しないと、難しいのではないかと。</p> <p>なお、価格構成情報とか、会社情報などから、適正な取引価格となるように価格面にも引き続き配慮ありたい。</p>		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応募改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、契約監視委員会の意見も考慮に入れつつも、応募する業者が皆無とまでは言えないことから、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、魚森昌彦、清水至		
<p>☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。</p> <p>監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798</p>		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

**一者応札・応募等事案フォローアップ票**

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	278	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	米国SC12への展示物輸送等業務	
契約締結日	平成24年10月3日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社HPCソリューションズ	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年8月28日 入札締切日 平成24年9月21日 開札日 平成24年10月2日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	SC開催日(平成24年11月12日)からみて、契約相手先が履行可能なように企図している。
③公告期間の見直し	○	かつては入札期日の前日から起算して休日を含む10日前までとして公告を行っていたが、休日を含まない10営業日前までの公告とし、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書をダウンロードし、かつ、入札不参加であった業者に聴き取り調査を行ったところ、仕様書を満たすような業務がない[取扱業務外]との回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	以前、本件類似案件の契約を行った(本件類似案件の入札に参加した)業者に公告内容を知らせた。
一者応札・応募等となった要因		
他の業者には仕様を満たす業務体制(海外への展示物輸送、展示ブース設営及びそれにかかる事務手続き支援)がなかったのではないかと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、より一層他の同業他社へ声をかけることなど、引き続き改善に向けての検討を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しているところであるが、契約監視委員会の意見を踏まえて努力しつつ、必要に応じ、措置を講じていきたい。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	285	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	計算科学研究機構 第一種圧力容器性能検査業務の委託	
契約締結日	平成25年1月9日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社亀山鉄工所	
入札経緯及び結果	公告日 平成24年12月12日 入札締切日 平成24年12月27日 開札日 平成25年1月9日	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2月1日からの業務開始日からみて、契約相手先が十分な準備期間を持てるように企図している。
③公告期間の見直し	○	休日を含まない10営業日前までの公告に見直し、現在もその運用を継続している。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	平成23年度に於いて入札参加資格がAであった為、参加できなかった業者へも参加できるよう参加資格範囲をD～Aに広げ、また参加も呼び掛けたが明確な回答は得られなかった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	業務を行えると推測した業者に参加を求めたが有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
第一種圧力容器点検業務においては、配置する業務責任者は、ボイラー整備士の資格が要件とされているところ、それを満たす人材を擁する業者が近隣になかったためと推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、引き続き改善に向けての努力を望む。 なお、適正な取引価格となるように、一層の配慮を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

**一者応札・応募等事案フォローアップ票**

法人名	独立行政法人理化学研究所	
案件番号	286	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	日立製空気圧縮機分解整備(平成24年度)一式	
契約締結日	平成25年2月25日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社王子製作所	
入札経緯及び結果	公告日 平成25年1月17日 入札締切日 平成25年2月21日 開札日 平成25年2月21日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様の精査を行い、必要最小限の内容に留めている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	公示から入開札まで1か月以上の期間。1か月以上の業務期間を確保している。
③公告期間の見直し	○	公告期間を営業日で10日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	所内の掲示に加え、ホームページの更新時に、入札説明書、仕様書等を直接ダウンロードすることを可能にし、現在もその運用を継続している。 また、最新の調達情報をEメールで配信するメールマガジンサービスを行っている。
⑤電子入札システムの導入	×	現在のところ、具体的な導入予定なし。
⑥業者等からの聴き取り	○	本年は落札者のみが入札説明書等をダウンロードした。前年は他1者があり、その会社にヒアリングしたところ、メーカー色が強く、参入ができないとの回答であった。
⑦想定できる競争参加者への周知についての取組	○	参加可能な業者が他にもあるのではないかと情報を求めたが、有用な情報は得られなかった。
一者応札・応募等となった要因		
高圧を発生させる精密機械の分解整備を行う高い技術力、並びに部品供給及び万が一の整備後事故対応におけるメーカーとの強い関係性を持つという点で代替者がなく、一者応札になっていることが推察される。		
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札改善の取組は、現在対応可能と考えられる方策は全て実施している。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札改善に向けて採り得る措置は全て実施しているとのことであるが、引き続き改善に向けての努力を望む。なお、適正な取引価格となるように、一層の配慮を望む。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
一者応札改善に向けて現在対応可能と考えられる措置は全て実施しており、こうした措置を継続する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
平井昭光、江戸川泰路、辻純一郎、清水至、伊藤健二		
☆ 本件についてのお問合せは、理化学研究所 監査・コンプライアンス室(契約監視委員会事務局)までお願いします。 監査・コンプライアンス室:(電話) 048-467-9799、(FAX) 048-462-4798		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。